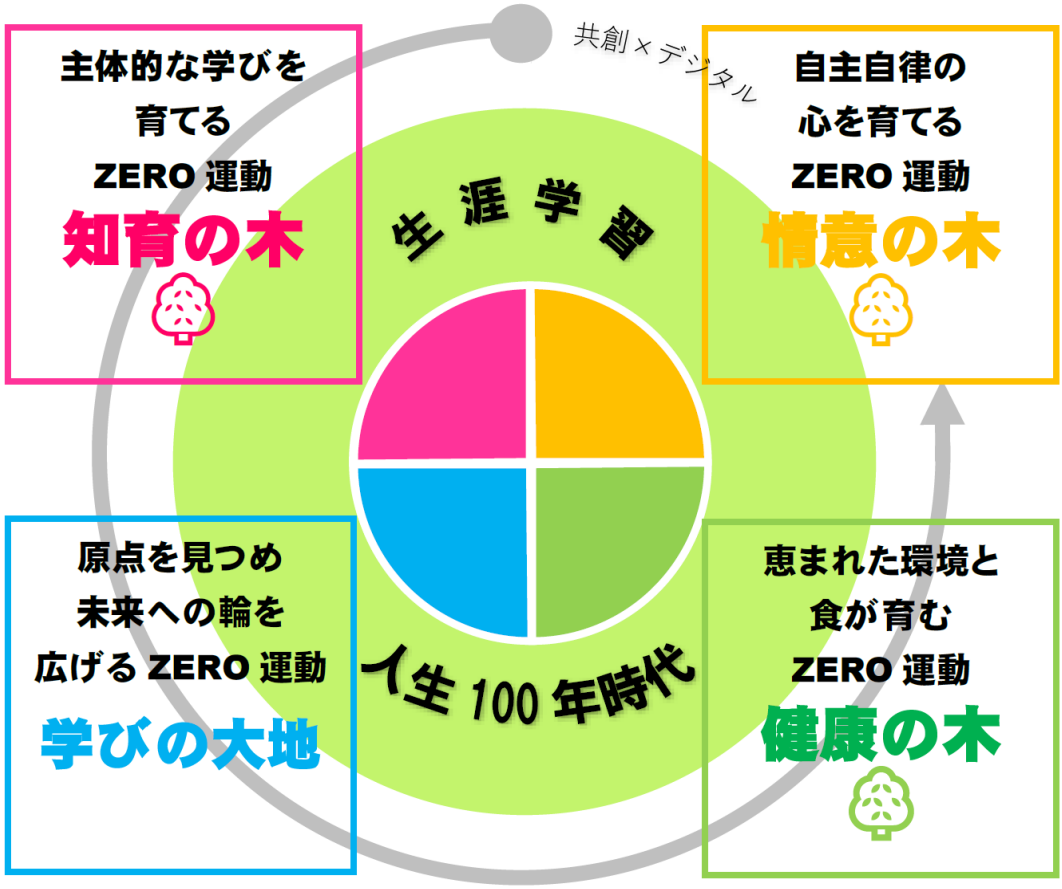
令和７年度（2025年度）富良野市教育推進計画

基本理念

未来を切り拓く人づくり
豊かな心を育むまちづくり



富良野市 ZERO 運動で輝く。つながり合う。ひとのWA！（輪）

富良野市教育委員会

令和７年度　教育行政執行方針（抜粋）

令和7年3月

＜学校教育について＞

●標準学力検査（ＮＲＴ）の実施により学力を経年で把握・分析し、各学校における学習指導方法の工夫や授業改善、家庭と学校の連携による家庭学習時間の確保などを行い、授業での学びと家庭学習が連動した取り組みとなるよう環境整備を進めてまいります。

●「英語が使えるふらのっ子」をめざし、児童生徒の主体的な言語活動を進めるためのＩＣＴの一層の活用促進、外国語指導助手の積極的な派遣など、学校指導体制の充実を通して、国際理解教育の推進に努めてまいります。

●児童生徒1人1台の端末の持続的な活用を進めるとともに、ＩＣＴ支援員の配置による教職員のスキル向上を図ってまいります。また、校務DXを通じた働き方改革や学校経営、学習指導の高度化を推進してまいります。

●幼児期から児童期の発達を見通しつつ、幼保小の円滑な接続をより一層意識し、幼児教育と小学校教育カリキュラム、教育方法の充実・改善に向け、研修会・交流授業を実施するなど、幼保小の連携による幼児教育の内容の充実を図ってまいります。

●特別な教育支援にあたっては、一人一人の教育的ニーズを把握し、個別の支援計画・指導計画を活用した効果的な支援や合理的配慮の提供に加え、本人や保護者の意向を最大限尊重し、障がいの状況に応じて適切な指導や必要な支援を受けられるよう努めてまいります。

●各教科・教育活動を連動させ学校の教育活動全体を通じた道徳教育を推進するとともに、富良野にゆかりのある講師陣による「心に響く道徳教育」を実施し、生命の大切さや思いやり、感動する心など、豊かな心を育む「心の教育」の充実に努めてまいります。

●自分らしいライフキャリアの実現を見据え、児童生徒が学ぶことと自己の将来とのつながりを理解し、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育成してまいります。郷土への理解や郷土愛を深めるため「マイノート」等の活用を進めてまいります。

●不登校児童生徒の多様な教育機会の確保に向けて、ＩＣＴを活用した学習支援を含めた教育支援センターの機能強化などを図るとともに、全ての児童生徒が安心してまなぶことのできる学校づくり、及び、アセスメントに基づく個に応じた具体的な支援について関係機関が参加する不登校児童生徒支援連絡協議会にて協議し、社会的自立のためのアウトリーチ型の支援を推進してまいります。

●いじめの未然防止、いじめの積極的な認知、早期の組織的対応、関係機関との連携など、いじめ防止対策の強化に向けて取り組んでまいります。また、多様性を求めあえる集団づくり、相談体制の充実など発達指示的生徒指導の側面に重点を置いた対応に努めてまいります。

●森林学習プログラムの充実と活動体制の強化に努めるとともに、地域の自然環境を生かした体験活動、持続可能な開発のための教育（ＥＳＤ）の推進により、本市が進めるゼロカーボンシティの実現に向けた認識を更に深め、持続可能な社会の創り手の育成に努めてまいります。

●子どもの発達段階に応じ、望ましい食習慣の定着に向けた指導の充実を図るとともに、学校・家庭・地域と連携した取組を推進してまいります。

●コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組を一層推進してまいります。また、各コミュニティ・スクール間の情報共有や委員などの交流を深めるため、研修会などを実施し、活動内容の一層の充実に努めてまいります。

●高校教育につきましては、富良野市内の高等学校２校が再編され新設校として開校するにあたり、教育活動の充実による魅力的で地域から求められる高校づくりに向けて、協力支援を進めてまいります。

●学校施設の整備につきましては、学校施設長寿命化計画に基づき、富良野西中学校改修工事を実施するとともに、夏季の暑さ対策として、各学校に空調設備が整うことから状況に応じた効果的な利用に努めてまいります。

＜社会教育について＞

●家庭の教育力向上のための支援と望ましい生活習慣の定着に向け、市民団体との連携による家庭教育講演会やセミナーなどの開催。また、コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動の取組により、地域で子どもたちを育てる意識の醸成を進めてまいります。

●地域の教育力を活かした子ども未来づくり事業、ふらのまちづくり未来ラボ事業等を引き続き進めてまいります。子どもたちの安全・安心な居場所づくりとして、児童館・学童保育センター、放課後子ども教室の運営を継続してまいります。

●市民一人ひとりが生涯にわたり学習活動を継続し、学びの成果を暮らしの質的向上や地域社会に活かしていくことが出来るよう、多様な教育ニーズに対応した市民講座、講演会、学習プログラムを提供してまいります。

●多様なニーズに適応した図書資料の充実に努めるとともに、図書館利用サークルや読書推進ボランティアとの連携のもと、快適な読書環境づくりに努めてまいります。また、ブックスタート事業等を継続して実施し、子どもの読書推進を図ってまいります。

●郷土の貴重な文化財の調査と指定登録を進め、教育やまちづくりでの活用を推進するとともに、伝承活動を担う郷土芸能保存団体の活動についても引き続き支援してまいります。

●社会教育を通じた持続的な地域コミュニティの基盤形成に向け、社会教育士をはじめとした社会教育の専門指導者の育成、地域課題の解決や自己実現に向けた活動に多くの市民が参画できる環境を整えるとともに、安全で快適な環境整備を進めてまいります。

＜切れ目のない子育て支援について＞

●社会的背景の変化に伴う様々なニーズに対応するため、認可保育所、認可外保育所、幼稚園などと連携し、必要な保育事業の提供に努め、安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりを推進してまいります。

●令和６年に開設した「こども家庭センター」を拠点に、関係機関との連携を図り、全ての子どもたちが切れ目のない、包括的な相談・支援、子どもの権利を守るための支援を充実させてまいります。

●乳幼児とその保護者が気軽に相互交流ができ、子育て相談や情報提供などを行う子育て支援センターを運営するとともに、地域で自主的に活動している幼児クラブなどへの支援及びファミリーサポートセンター事業の推進と、複合庁舎内に設置の「へそキッズランド」を継続して運営してまいります。

●心身の発達に配慮や支援を必要とする子どもの早期発見に努め、療育支援の充実を図るとともに、保育所・幼稚園から小学校へスムーズな移行ができるよう切れ目のない支援を行ってまいります。また、こども通園センターと関係機関の連携強化により、子育て相談の充実に努めてまいります。

●保護者の育児不安、ひとり親の自立や就業などに対する支援の相談窓口を引き続き設置するとともに、関係部署や専門機関と連携し、情報の共有と共通理解により、課題解決を図ってまいります。

富良野市複合庁舎1階の幼児向け屋内遊具施設「へそキッズランド」

評価指標一覧

Ⅰ　主体的な学びを育てる「知育の木」

	成果指標	基準値(R1)	R６年度	目標値(R7)
1	全国学力・学習状況調査において、「国語の授業はよく分かる」と回答した児童生徒の割合	小84.8% 中86.6%	小87.1% 中79.8%	小100% 中100%
2	全国学力・学習状況調査において、「算数・数学の授業はよく分かる」と回答した児童生徒の割合	小75.8% 中76.1%	小85.7% 中62.1%	小100% 中100%
3	全国学力・学習状況調査において、「学校の授業時間以外に、普段（月曜日 金曜日）全く勉強をしない」と回答した児童生徒の割合	小0.6% 中4.5%	小2.9% 中8.9%	小 0% 中 0%
4	教育課程や学習・指導方法の改善と評価の一体化を図り、一貫性のある取組を組織的かつ計画的に進めている学校の割合	84.1％	100%	100％
5	国際理解教育を教育計画に位置付けている学校の割合	—	100%	100％
6	SDG s を理解し、授業ができる教員の割合	—	100%	100％
7	全国学力・学習状況調査において、「英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができた」と回答した児童生徒の割合	—	46.6%	100％
8	学校における教育の情報化の実態等に関する調査において、「授業にＩＣＴを活用して指導することができる」と回答した教員の割合	91.8％	98.5%	100％
9	学校における教育の情報化の実態等に関する調査において、「児童のＩＣＴ活用を指導することができる」と回答した教員の割合	91.4%	98.5%	100％
10	公開保育を開催する幼児教育保育施設数	0 箇所	0箇所	2箇所
11	小学校において、幼稚園、保育所と連携してスタートカリキュラムを作成している学校の割合	33%	85.7%	100％
12	小学校において、体験入学以外に交流学習を行っている学校の割合	33%	100%	100%
13	経過観察を含め、支援を要する児童生徒の個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成している学校の割合	65.2%	100%	100％
14	北海道立特別支援教育センター巡回相談講座の受講修了者数	5人	6人	12 人

Ⅱ　自主自律の心を育てる「情意の木」

	成果指標	基準値(R1)	R６年度	目標値(R7)
1	全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙において、「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」と回答した児童生徒の割合	小79.4% 中81.8%	小94.3% 中94.4%	小100% 中100%
2	全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙において，「学校の授業時間以外に、1 日あたり10分以上読書する」と回答した児童生徒の割合	小65.7% 中51.7%	—	小100% 中100%
3	読み聞かせボランティアや学校司書、市立図書館等と連携した取組を行っている学校の割合	69.2%	81.8%	100%
4	キャリア教育の目標及び全体計画の様式、マイノートの書式統一に取り組んでいる学校の割合	76.9%	100%	100%
5	全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙において、「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合	小83.6% 中75.0%	小80.7% 中63.4%	小100% 中100%
6	全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙において、「児童生徒の間での話し合い活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童生徒の割合	小70.3% 中73.9%	小88.6% 中83.9%	小100% 中100%
7	地域資源や地域人材を活用し、表現力や感性を育成する取組を教育課程に位置付けている学校の割合	小100％ 中100％	小100% 中100%	小100% 中100%
8	不登校児童生徒への対応について、関係機関との連携した支援体制の整備・充実に取り組んでいる学校の割合	—	100%	100%
9	不登校児童生徒への多様な教育機会確保のため、ICT 機器の活用や家庭学習の評価、適応指導教室などの学習活動を評価材料に生かしている学校の割合	—	90.9%	100%
10	いじめのアンケート調査において「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童生徒の割合	小97.7% 中92.8%	小99.2% 中93.1%	小100% 中100%
11	いじめのアンケート調査において「いやな思いをした時、誰にも相談しない」と回答した児童生徒の割合	小 6.8% 中11.7%	小8.0% 中8.3%	小 0% 中 0%

Ⅲ　恵まれた環境と食で育てる「健康の木」

	成果指標	基準値(R1)	R６年度	目標値(R7)
1	富良野市の自然環境や施設を生かした活動、清掃活動や自然愛護活動など、学校や地域の特色を生かした教育課程を編成している学校の割合	69.2％	100%	100％
2	各種通信、給食だよりや献立表を活用し、家庭に対して望ましい食習慣の啓発を行っている学校の割合	92.3%	100%	100％
3	全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙において、「朝食を毎日食べている」と回答した児童生徒の割合	小94.5％ 中93.7％	小93.6% 中89.5%	小100% 中100%
4	全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙において、「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と回答した児童生徒の割合	小90.3％ 中88.7%	小85.7% 中94.4%	小100% 中100%
5	家庭や地域、関係機関との共通理解を深め、児童生徒の発達段階に応じた組織的・計画的な性教育や薬物乱用防止教室、飲酒・喫煙防止教室等の充実を図っている学校の割合	92.3％	100%	100％
6	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の質問紙調査において、「運動が好き」と回答した児童生徒の割合	小69.2％ 中62.7％	小81.0% 中53.3%	小100% 中100%
7	地域指導者やスポーツ団体等を積極的に活用し、組織的・体系的な指導体制の充実に努めている学校の割合	76.9％	63.6%	100％

Ⅳ　原点を見つめ未来への輪を広げる「学びの大地」

	成果指標	基準値(R1)	R６年度	目標値(R7)
1	近隣等の中学校（小学校）と合同で授業研究などの研修を行っている学校の割合	―	58.3%	100%
2	地域の学校として小中一貫した９年間を見通し、特色ある教育活動を推進している学校の割合	61.6%	66.7%	100%
3	市内の中学校卒業者の富良野市内の高等学校への進学率	69%	66.7%	75%
4	学校、保護者、地域住民による三位一体の体制を構築し、質の高い教育の実現や諸課題の解決に努めている学校の割合	92.3%	100%	100%
5	1 カ月の時間外勤務45 時間以内、1 年間360 時間以内の教職員の割合	―	67.2%	100%
6	校区内の危機管理マニュアルを共有している学校の割合	92.3%	100%	100%
7	地域の実態に応じた防災訓練を実施している学校の割合	92.3%	100%	100%

Ⅴ　家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進（※は２月末現在）

	成果指標	基準値(R1)	R６年度	目標値(R7)
1	家庭教育セミナー(中学校区)の開催	３回	２回	３回
2	家庭教育講演会の開催	１回	０回	１回
4	子ども未来づくりフォーラム参加校	８校	全校	全校
5	少年の主張大会参加校	６校	全校	全校
6	ふらのまちづくり未来ラボ参加者数	3.0%	3.8%	3.0%
7	児童館、学童保育センターの利用者数	45,226 人	30,549人	39,000 人
8	学童保育センター開所時間の延長	０館	５館	５館

Ⅵ　人々の暮らしの向上と人生100 年時代を見据えた生涯学習の推進（※は２月末現在）

	成果指標	基準値(R1)	R６年度	目標値(R7)
1	富良野市民講座の参加者数	4.1%	13.6%(※)	4.1%
2	ことぶき大学学習日日数	30 日	32日	30 日
3	市民一人当たり図書貸出冊数	5.8 冊	5.8冊	7.0 冊

Ⅶ　文化伝統の保護継承と社会教育施設整備の推進

	成果指標	基準値(R1)	R６年度	目標値(R7)
1	指定・登録文化財の件数	４件	2件	６件
2	無形民俗文化財保存団体会員数	78 人	80 人	78 人
3	文化的活動や郷土の歴史等に接する機会への参加者数	340 人	405 人	380 人
4	専門職員（社会教育主事・学芸員・司書）の配置	５人	６人	５人

Ⅰ　主体的な学びを育てる「知育の木」

基本施策１：確かな学力を育む教育の推進

実践項目１ 学力向上の取組の推進
・ 全国学力・学習状況調査の結果分析による検証と授業改善
・ 家庭と学校の連携による家庭学習時間の確保及び授業での学びと家庭学習の連動
・ 小学生及び、新たに中学生を対象とした標準学力検査（ＮＲＴ）の実施

実践項目２ 授業改善の推進
・ 学校教育指導訪問の実施
・ 「子どもが主体的に考え学ぶ授業」への授業改善と情報発信
・ ＴＴ指導・習熟度別指導の充実

基本施策２：社会のグローバル化に対応する教育の推進

実践項目１ 国際理解教育の充実
・ イングリッシュキャンプ等の英語に関わる機会の充実

イングリッシュキャンプ

実践項目２ 外国語教育の推進
・ 全ての学校へ外国語指導助手を派遣
・ 小学校教員の英語力向上に関する研修の実施

実践項目３ ＩＣＴ教育の推進
・ 授業支援ソフトの効果的な活用
・ 情報モラル、情報セキュリティ等の情報活用能力の育成
・ 通信環境をもたない家庭への通信機器支援
・ ＩＣＴ支援員の配置による効果的なＩＣＴの利活用

幼稚園への小学校先生訪問

基本施策３：質の高い幼児教育の推進

実践項目１ 幼児教育の質の向上
・ 幼保小 合同研修会の実施
・ 授業実践交流の開催

実践項目２ 小学校教育との円滑な接続
・ 幼児期の「遊びを通した学び」を生かしたカリキュラムの編成
・ 幼保小合同引継会の実施
・ 幼保小の関係者が連携した架け橋プログラムの開発・実施

基本施策４　一人一人のニーズに対応した取組の充実

実践項目１ 特別支援教育の充実
・ 専門家チームによる相談業務、訪問指導
・ 個別の支援計画、指導計画を活用した効果的な指導と支援
・ 切れ目のない一貫した指導や支援体制の確立
・ 学校種間の円滑な接続と情報交換による共通理解
・ 特別支援教育支援員の適正配置
・ 保護者向けガイドブック活用による理解促進

保護者向けガイドブック

実践項目２ 就園・就学に対する支援
・ 専門家チームによる就学前からの相談体制の確保
・ 医療、保健、福祉等 関係機関による連携体制の充実
・ 保護者への巡回教育相談等の機会の周知
・ 教育 相談担当者の育成

Ⅱ　自主自律の心を育てる「情意の木」

基本施策１：豊かな心を育む教育の推進

実践項目１ 道徳教育の推進
・ 各教科・他の教育活動と関連させ教育活動全体を通じた道徳教育の推進
・ 授業公開による教員の資質能力の向上
・ 地域人材を活用した「心に響く道徳教育」の実施

実践項目２ 読書活動の推進
・市内全小中学校へ学校司書配置
・ポータルサイトの活用等による学校、市立図書館、学校司書との連携
・朝読書や読み聞かせなど児童生徒の読書習慣確立に向けた取組の推進

実践項目３ キャリア教育の推進
・ 富良野版キャリアパスポート等の継続した活用によるキャリア教育の推進
・ ふるさと富良野に対する理解の促進
・ キャリア教育の改善に生かす評価の工夫

実践項目４ コミュニケーション能力の育成
・ 各教科等における言語活動の充実
・ 演劇手法を用いたワークショップの実施
・ 体験活動を通した表現力、コミュニケーション能力、創造力の育成

実践項目５ 文化芸術活動を通した豊かな心の育成
・ ふらの演劇工房の事業を活用した取組実施
・ 伝統・文化・芸術の鑑賞及び体験機会の取組実施

職業体験

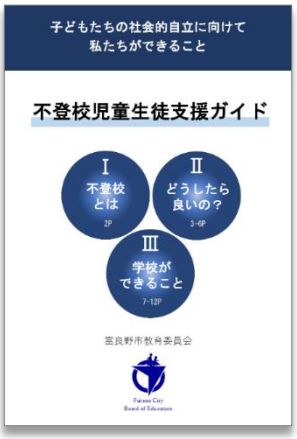
コミュニケーションワークショップ

伝統文化体験

基本施策２：いじめや不登校児童生徒への対応

実践項目１ 不登校児童生徒への支援
・ 教育支援センターの機能強化とアウトリーチ型支援の充実
・ ＩＣＴ端末活用等による多様なニーズに応じた教育機会の確保
・ 学校、スクールカウンセラー等関係機関との連携による支援策の協議

実践項目２ いじめ防止基本方針に基づく取組の推進
・ 子どもの権利の理解促進や人権教育の推進
・ 児童生徒の自主的・自律的ないじめZERO への取組
・ いじめの積極的な認知、早期の組織的な対応と関係機関との連携
・ 生徒指導提要の定義と目的を踏まえた発達指示的生徒指導及び課題予防的生徒指導の充実



不登校児童生徒支援ガイド

Ⅲ　恵まれた環境と食で育てる「健康の木」

基本施策１：体験活動等の推進

森林学習プログラム

実践項目１ 環境教育の推進

・ 森林学習プログラムや富良野自然塾を活用した体験活動
・ 学校や地域の特色を生かした教育課程の改善と充実
・ 持続可能な開発のための教育（ESD）の推進

基本施策２：食育と学校給食の充実

第２次食育ガイドライン

実践項目１ 食に関する指導の充実

・ 望ましい食習慣の定着に向けた学校給食を活用した実践的な指導の充実
・ ふるさと給食を活用した食育の推進
・ 学校、家庭、地域が連携・協働した食育の推進
・ 第２次富良野市子どもたちのための食育ガイドラインを活用した望ましい食習慣の啓発

基本施策３：健やかな身体を育む教育の推進

実践項目１ 健康教育の充実

・ 発達段階に応じた性教育、薬物乱用防止教育の推進
・ 校内における健康相談体制の充実
・ 生活リズムチェックシートの活用

実践項目２ 学校体育の充実

・ 全国体力・運動能力、運動習慣当調査の結果分析による検証と改善
・ 体育・健康に関する指導工夫と改善
・ 家庭・地域と連携した児童生徒の運動機会の創出

Ⅳ　原点を見つめ未来への輪を広げる「学びの大地」

基本施策１：学校段階間の円滑な接続

実践項目１ 学校段階間の円滑な接続
- 学びの連続性を踏まえた特色ある教育課程の編成・実施
- 学校段階間の連携や一貫教育の充実を目指す指導の充実

実践項目２ 高校教育の推進
- 中高連携による授業交流や学力の現状把握と分析
- 教育ニーズに合わせた魅力ある高校づくりへの支援

小中高合同研修会による互見授業

基本施策２：家庭・地域が一体となった学校運営の推進

実践項目１ コミュニティ・スクールの推進
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- 地域学校協働活動の推進による地域との連携・協働体制の拡充
- 学校運営協議会委員の研修や交流機会の拡充

ＣＳ地域連携事業　東っ子わくわくタイム
（長期休業中の学習・生活習慣サポート）

実践項目２ 学校運営の推進
- 地域に根差した学校経営の充実
- 働き方改革に向けた適切な勤務環境づくり
- 部活動の地域展開に向けた検討
- コンプライアンスに関する研修の実施
- 教職員の健康診断やストレスチェックの実施

基本施策３：防災・安全教育の充実

実践項目１ 防災・安全教育の充実
- 地域の状況に応じた防災訓練の実施
- 校区内幼保小中間での危機管理マニュアルの共有
- 地域と連携した安全指導

防災教室

Ⅴ　家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進

基本施策１：家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進

実践項目１：子ども子育て支援・家庭教育支援の充実

1 家庭教育講演会やセミナーの開催、家庭教育ハンドブック、子育てガイドブックの作成・配布・活用に無得た周知

・社会教育関係団体や子育て関係部署との連携

2 親子体験活動の充実および子育てに関する市民講座の開催

・子育て、または親子が一緒に参加できる講座の企画・開催

・主体的な学びを企画する子育てサークル等の支援

3 地域学校協働活動を推進

・コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動の取り組み

・定期的な情報交換や研修をする機会の創出

・学校支援ボランティアの育成と支援

4 ネットトラブル関係の情報提供（望ましい電子メディアとの関わり方）

・ 小冊子の配布・活用に向けた周知

・ 学校現場と連携した講演会や研修会の実施

家庭教育ハンドブック

家庭教育セミナー

実践項目２：青少年教育の推進

1 子ども未来づくり事業の推進・拡大

・子ども未来づくりフォーラム、少年の主張大会の開催

2 ふらのまちづくり未来ラボ推進事業の推進

・ワークショップ学習による多世代交流を通した郷土愛を感じる人材の育成

3 社会教育関係団体を育成・支援

・子ども会、青少年サークル「ね～びる」の育成支援

4 児童館・学童保育センター、放課後子ども教室の充実

・児童厚生員、コーディネーター、サポーターの確保

5 富良野地域広域教育圏振興協議会の推進

・沿線教育委員会との各種研修会や交流事業の実施

6 青少年健全育成を推進

・青少年表彰、富良野市はたちを祝う会の実施

・青少年補導センター、富良野市いじめ問題対策協議会との連携

子ども未来づくりフォーラム

富良野市子ども会リーダー研修会

Ⅵ　人々の暮らしの向上と人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

基本施策１：人々の暮らしの向上と人生１００年時代を見据えた生涯学習の推進

実践項目１ 成人・高齢者教育

１ 市民講座、講演会、学習プログラム等の学びの場の提供

・自主企画講座を通した、市民が主体的に学ぶ場の提供

・市民ニーズに対応した講座や講演会の開設

２ 社会教育関係団体の育成・支援

・ＰＴＡ活動、中央婦人会の育成支援

３ 「楽しく魅力ある」ことぶき大学の運営

・「富良野校」「山部校」との連携協力

・世代間交流事業、伝承活動の拡充

４ 年齢ニーズに合った学習情報の提供や資料を整備

・ホームページ・ＳＮＳの活用による社会教育事業及び学びの情報の周知

ふらの市民講座　ふれあい講座

ことぶき大学（研修旅行）

実践項目２ 読書活動の推進

１ 利用者団体およびボランティア活動の積極的な情報提供

・ボラアンティアの育成と活動の場の提供

・団体、ボランティアとの協働による、各種行事の充実

２ 図書館業務の省力化の推進と多様なサービスの検討

・館内システムの更新準備と総体的なサービスの検討

３ 子どもの読書推進プラン（第３次計画）の推進

・ボランティアとの協働によるブックスタートの継続

・学校司書との連携強化と学校図書館支援事業の推進

４ 利用者ニーズに対応した図書資料および図書情報の提供

・蔵書の充実と情報提供サービスの強化

市立富良野図書館・中央公民館

ボランティアとの協働による行事風景

Ⅶ　文化伝統の保護継承と社会教育施設整備の推進

基本施策１：文化伝承活動と社会教育施設整備の推進

実践項目１文化伝統の保護継承

１市内に現存する文化財のリストアップと、その登録・指定や保全活用方法等を調査
・文化財保護審議会の開催による適切な保護措置の検討
・文化財リスト掲載物件の調査推進
・蒸気機関車D51954フラヌイ号の維持保全
２無形民俗文化財保存団体の会員数の維持・増加に向けた活動支援、活動状況等の情報発信と新たな人材の確保
・郷土芸能保存団体活動費補助
・用具類の補修・更新支援
・生涯学習センターホームページへの活動情報掲載
３郷土芸能伝習館の環境維持に向けた計画的かつ効果的な整備の実施
・指定管理による適切な施設維持管理の実施

国登録有形文化財「島田家住宅主屋」

実践項目２博物館活動の推進

１市民の文化的活動や郷土の歴史等に接する機会の醸成、各種団体等との連携協力、効果的な学習機会の提供
・博物館・大学・研究機関等との連携による調査研究の充実
・調査研究活動に基づいた観察会や見学会、講演会などの開催
・資料収集と収集した資料の活用・公開
・資料の貸し出し、古写真・動画などの貸し出しと提供
・展示解説や出前講座、講義などの依頼対応
・レファレンスサービス（調べもの相談）の充実
・ホームページ、ＳＮＳによる情報の発信
２多様な展示や学習資料の作成等をとおした教育普及
・地域の自然・歴史・文化等を紹介する特別展や企画展の実施
・ガイドブックや郷土学習資料の発行
・ミュージアムボックスの貸し出し
３各種調査研究活動による資料の公開
・博物館年報やミュージアムレターなど機関紙の発行
４インバウンドに対応した英語版展示解説システムの運用

博物館常設展示の案内・解説

常設展示の英語版デジタル解説

実践項目３社会教育施設機能の充実

・中央公民館
・生涯学習センター（山部公民館・博物館）
・東山公民館
・市立富良野図書館
・郷土芸能伝習館

生涯学習センター